

高野山研修 <一泊二日> (6/26,27) 大阪



ほぼ満席のバスで新大阪駅を午前 9 時出発。関東などからの参加者も多く、車内では、スタッフの吉田さんの挨拶から始まり、担当講師の福井がガイディングを開始。出発地点の新大阪駅、大阪人気質等の話を所謂 “つかみ” として、そして僧空海の生涯の本題につなぎました。その後、1 人 30 秒自己紹介を終えると、もうそこは高野山山頂へのワインディングロードでした。

山頂（盆地）には金剛峯寺の他に 117 の塔頭寺院（内 5 2 寺が宿坊）があり、町中心街には小規模ながらも商店、食堂等も集まっており、参加者研修への期待が大いに膨らみました。

金剛峯寺、壇上伽藍での研修

金剛峯寺の僧安田様のご自身の高校生時分から高野山で過ごされた修行体験等も含め、真言宗の総本山の金剛峯寺と僧の修行施設である壇上伽藍の説明を頂きました。安田様のお優しい物腰を反映した説明により、弘法大師空海とその教え（密教）が身近に感じられるようになってきました。

恵光院（宿坊）

昨今宿坊を目当てに高野山に来られる外国からの方が多いとのこと。我々も宿坊体験しました。部屋は簡素な和室。トイレ、洗面、風呂は共用ですが、設備は大変新しく清潔で文句無し。夕食前に『阿字観』と言われる密教独自の瞑想の指導を僧より指導を受けました。

GICSS 研修参加者一同に会しての夕食は勿論精進料理。高野豆腐、胡麻豆腐、野菜の天麩羅、素麺等シンプルな食材ですが、1200 年の精進料理の歴史を経ているので、案外ベジタリアンも悪くはないと思わせる美味に全員、完食！となりました。



奥の院・ナイトツアー

奥の院は高野山一の聖地で弘法大師の御霊廟があります。恵光院の僧が英語で案内。奥の院には、20 万余基の墓石及び供養塔がある由。僧の木訥ながら、分かりやすい英語での仏教の基本のお話、弘法大師に纏わる多くのトレビアを 1 時間強の勉強。最終地の霊廟前で現地解散。各自グループを離れず、来た道をひたすら宿坊へ戻りました。ある人曰く、“肝試しや”。

翌朝は 6 時 30 分から本堂でお勤め、7 時から護摩堂で護摩業に参加。密教の加持祈祷を目の前にしました。その後、再び僧安田様の案内で朝の奥の院を散策。

無量光院でのスイス人僧クルト源蔵師のレクチャー

奥の院から公共のバスに全員乗車し移動、クルトさんのお寺、無量光院に向かいました。クルト師は、国交省任命の “よこそ日本大使” であり、昨今マスコミにもよく登場される高野山ではもっとも知られた存在である僧です。2 時間のお話を英語でしていただきました。同僧は 5 カ国語（英、独、仏、伊、日）で説教、案内をされる由。サービス精神旺盛なユーモアたっぷりの外国人僧の密教の話は大変有意義でした。



最後に

高野山へは年間 400 万人の方が訪れ、内 4 万人程が海外の方です。特にヨーロッパの方に人気。フランス人経営のカフェが山上にあるほどです。霊廟で今も黙然と瞑想が続けられているとされる弘法大師は今の高野山の姿をどのように見ておられるのか興味があります。

（講師：高野山真言宗総本山 金剛峰寺宗務総長公室 安田空源、講師：高野山準別格本山 無量光院 僧侶 クルト源蔵、講師/レポーター：福井ミッキー、スタッフ：吉田英夫）

「ネイティブ講師に学ぶ！ 自然な英語表現」ワークショップ (7/19,20, 9/2) 東京



実施内容は Vol. 65 に掲載していますので、そちらを参照ください

研修名・日程・会場等	チェックポイント
座学 C.C.「日本の自然の魅力」 (東京) 10 月 11 日(水)、14 日(土) ← 満席、 11 月 12 日(日)午前、15 日(水)午後 講師: 松岡明子	ご自身の用意した 2 分間ガイディングを基に、少人数で和気藹藹と語り合しましょう。(10 月と 11 月、同テーマにて開催します。 錦秋の日本の自然をどうガイドするか、あるいは、自然に関するガイディングならなんでも OK です。チャレンジしてください。
GICSS 検定・勉強会 (東京) 12 月 12(火)午後、19(火)夜、26(火)午後	全員参加型で情報共有を目指します。日光地区観光ガイドが多面的、多角的にガイドできるだけのネタをゲットし、審査会での客観的なレベル判定と審査官からのアドバイスを指針としてガイド力向上を図りましょう。
専門研修「歌舞伎」 (東京) 12 月 10 日(月・祝)、午後	古典芸能の筆頭、「歌舞伎」について、専門家を招き、深く学ぶ研修です。長年、国立劇場や歌舞伎座で「イヤホンガイド」や「字幕」の英訳に携わってきたロナルド・カヴァイエ氏および元歌舞伎役者による体験型歌舞伎のツボ講義の 2 本立て。
GICSS 検定・審査会 (東京) 2018 年 1 月 8 日(月・祝)、9 日(火)	自身の現時点でのガイド総合力を 6 段階に判定し、個別アドバイスまでもらえる業界で唯一の検定制度。何度でも挑戦してレベルを上げてください。今回の日光地区に限らず、いままで取り上げてきたすべての地区の審査も受けられます。
地域スポット研修「大阪城」 (大阪) 2018 年 1 月 21 日(日) (午前中)、28 日(日) (午後) 講師: 吉崎圭子	大阪では絶対外せない観光スポットをベテランガイドの吉崎圭子さんに研修して頂きます。関西在住以外の皆様も、大阪ガイドのつぼをマスターするよい機会です。ぜひ研修に参加して苦手意識克服しましょう。
「関西新年懇親会」 (大阪) 2018 年 1 月 21 日(日) (午後)	来年は関西が最初に新年懇親会を開催します。午前中のお大阪城研修に引き続き、開催します。皆様のご参加をスタッフ一同 心よりお待ちしております。今からスケジュールにいられておいてください。
「年次総会・関東新年懇親会」 (東京) 2018 年 1 月 28 日(日)	ランデル先生、松岡先生をお迎えしての新年会。歌・手品なんでも結構、皆さんの特技・十八番を披露いただき楽しい新年会にしましょう。仲間との交流をひろげる場です。皆さんの参加をスタッフ一同 心よりお待ちしております。
地域スポット研修「名古屋城」 (名古屋) 2018 年 1 月 29 日(月) 講師: 小西明子	この冬は、関西・東海の「城」を連続してじっくり学びませんか？名古屋観光の必須ガイドスポットの名古屋城をくまなく歩き、周辺も含めたガイディングのポイントを学ぶウォーキング型の研修です。28 日は大阪、29 日は名古屋と 2 日間連続で、遠方からも受講しやすいように設定しました。どうぞお楽しみに！
新人研修 (東京) ① 2/27,28,3/1,2,4 ② 4/14,15,21,22	新人研修 (大阪) 3/12(月) ～ 3 月 15 日(木)
開催場所・時間などの詳細は、今後のメーリングリスト、ホームページでご確認下さい！	

GICSS 会員がつなぐ、リレーエッセイ

リレー ESSAY

40

会員の皆様、こんにちは！

山ノ内 昌子

皆様、こんにちは！ 前号（七月号）の葛西朋子さんとは、二〇一五年三月新人研修（東京）で知り合いました。新人研修後に縁があり、サンライズツアーのチェックイン業務等を二〇一五年四月より始め、ガイドデビューは二〇一六年四月九日、オーストラリアのご夫妻の新婚・歌舞伎町ウォーキングガイドでした。二回も昼間に下見をしました。夜に下見をすべきでした。目印にしていたお店のライトアップが定休日で消え、しばし道に迷ってしまったのです！

新宿、神楽坂、原宿などのウォーキングツアーが出来たのも、現場チャレンジ研修やガイドの先輩方や同期の方の自主勉強会に参加させて頂き、一歩を踏み出すことが出来ました。

桜ツアーもとても楽しく、初めて浅草の振袖さんの踊りを見てうつとりしました。たまに海外に旅行に行った時にも感じるのですが、一番のおもてなしは「笑顔とあたたかい眼差し」です。いつも元気で笑顔でいられたら良いのですが。

今年の三月、五月にインドからの小、中、高校生ツアーを思いがけなくアサイン頂きました。行先は浅草、富士・箱根、鎌倉、横浜、つくば宇宙センター、サイバーダイナミクススタジオで医療用ロボット体験、京都、奈良、広島、大阪、関東学院六浦中学、高等学校等です。

ツアー前に（株）ランデルズのご担当者より「何かあったら遠慮せずにご連絡を下さい」と励ましのお言葉やアドバイスを頂きました。

夜間・救急病院の受け入れ先が見つからない時は旅行会社ツアーに担当者が、「山ノ内さんはガイドに専念して下さい。受け入れ先をさがして探します。」と病院を見つけて下さいました。学校交流で、授業見学、茶道、弓道、剣道などの部活体験も旅行会社の社員の方々が全面的にプロジェクトがスムーズに遂行されるように学校内で助けて下さいました。もちろん日本の校長先生や生徒さんも説明・ご案内し、私は剣道部の活動で通訳と稽古に飛び入り参加致しました。三〇年ぶりに係わり足がつかず心臓発作も起きなかったのはデイスパッチ業務のおかげです。

一回目のインドツアーは全員小学生でしたので、泣き出す子達もいて、涙のお見送りとなりました。二回目の学校の女性の校長先生からは大阪の道を間違え叱られましたが、翌日「体が一番大事だから、無理をしてはだめですよ。」と優しくハグして頂きました。インドの方は愛情が深く濃いと心底思いました。

まだ二十本の指で足りる件数しかガイドはしていませんが、失敗したことを含め、全てが大切な思い出がたい経験です。二〇二〇年に再会を誓ったお客さん、子供達と会う頃には、もっと強くしなやかな人になります！



「哲学の道スポット研修」 7/8 & 10 (京都)



京都の観光スポットの中でも高い人気の散策路である『哲学の道』にてスポット研修を開催致しました。今回は受講希望者が定員を大幅に超過したこともあり、急遽1本追加されました。大勢の受講の皆様には、両日とも35℃越えの猛暑日の中、熱心に研修に参加下さり、有り難う御座いました。

今回は通常の流れ(南進ルート)の反対(北進ルート)としました。特段の理由はありません。臨済宗の巨刹、『南禅寺』の三門(山門)前に集合、研修開始。同寺の概略説明後、臨済禅宗の特色である“公案”の説明の仕方を学びました。大徳寺大仙院前住職で著名な尾関宗園師のお話も紹介させていただきました。次に、『熊野若王子神社』、『叶匠寿庵』(喫茶室で小休止兼茶室棟下見)、『大豊神社』を訪問。散策路本通から deviate して“琵琶湖疎水分線(京都の地勢に反し北進！する水路)”を東に越え、非公開の2寺、『霊鑑寺』(谷の御所)、『安楽寺』(浄土宗僧安楽と後鳥羽上皇の女官松虫&鈴虫の悲話で有名)を経て『法然院』を訪問。又、本道に戻り、更に北進して『銀閣寺』(世界遺産、国宝観音殿&東求堂、特別名勝の庭)を訪問。そして、帰路の交通手段等の確認を行い、研修終了となりました。

尚、8日の研修時には、銀閣寺訪問中俄にタ立(傘が全く役立たずの豪雨)に遭遇しました。“force majeure”とは言え、ずぶ濡れ姿で帰宅された参加の皆様には改めて、「ご苦労様でした」と申し上げる次第です。最後に、今回の研修を通じて、『哲学の道』は受講された方全員の“自家菜籠中の物”になった事を希望いたします(講師/リポーター:福井ミッキー、スタッフ:山田展之、吉田英夫)

「IT 活用法」 7/18 (東京)



株式会社トラベリエンスより講師をお招きし2部構成で開催。第1部「ガイドのための IT 活用法」の講師は代表取締役社長橋本直明氏、ガイディング現場で有効な19のITツール(サイトやサービス)をテンポよく次から次へと紹介下さいました。例えば WhatsApp、聞いたこともないという方が多いでしょうが(リポーターも、です)これは言うなれば海外の LINE、欧米では大変普及しているので海外のお客様対応には非常に便利とのこと。Facebook や YouTube など比較的なじみあるものも「ガイドの仕事にどう活かすか」の視点での解説が大変新鮮でした。

第2部は(株)トラベリエンスが運営するインターネット上にガイド自身が情報を発信しお客様が直接申し込むビジネスモデル「トリプルライツ」について。登録方法に始まり、プロフィールのアピールのコツなどをガイド/カスタマーサポートチームの西田理紗氏にお話し頂きました。自らセールスする場として参加者の関心は高く、Q&Aタイムは具体的な質問が続きました。

いずれも「仕事」に直結する内容で、参加者のモチベーションが大いに刺激される専門性研修でした。

(講師:(株)トラベリエンス代表取締役社長橋本直明
レポーター:須田香野子)

特別講演会「外国人に伝える日本美術の魅力」7/9 (京都)



「外国人に伝える日本美術の魅力」特別講演会を7月9日京都国立博物館にて参加者67名で開催しました。マリサ・リンネ氏(京博国際交流担当)は流暢な日本語と英語で映像を用い講演されました。展示物の説明は IPOP (Idea People Object Physical Sensation) を心掛けると良い事、地味な展示物をも面白く説明する技の披露、加えてガイドネタに役立つものまで、ユーモアを交えテンポ良くお話されました。コレクションの多くが神社仏閣からの預かり物である京都国立博物館は、展示説明は学術的正確さを優先しています。貴重な美術品の材質の特徴や、四季を大事にする日本文化風土の影響で、展示の仕方、保存方法、修理に関しては、日本は米国とは相当異なる事に言及されました。時代と共に変遷した屏風絵のデザインは、ご自身の著書の抜粋を基に解説されました。大変中身の濃い講演で終了後も幾人かがリンネ氏を囲んでお話が弾み、お名残惜しく第二弾を望みつつお別れしました。

講演者:マリサ・リンネ氏(京都国立博物館・国際交流担当)

ナビゲーター/リポーター:田村聡子、スタッフ/吉開 栄治、鴨井真由美、吉田英夫)

C.C.「マンガ・アニメ」7/16 (東京)



改めて思ったのは、アニメやマンガの作品を語るむずかしさです。その魅力をうまく伝えるためには、まずは自身がよく鑑賞して、その作品を象徴するキーワードやキーフレーズを見つけること、そして総花的に多くの話しをするよりは一つの話しを掘り下げる、という構成がより効果的なのだろうと感じました。アニメやマンガは楽しむために見る・読むものですから、何よりも話す側がいかに楽しそうに話しているという雰囲気をつくることも重要です。また今回は業界全体の低賃金についてのお話しもありましたが、放送・出版業界におけるアニメ・マンガの位置、などの少々かたい話題とセットで準備するのも、ロングドライブ用にはいいかもしれません。参加された13名のみなさんはそれぞれに工夫こらしたお話しをされましたが、同じ内容をさらに短い時間で、より印象深く話すための研究を続けられるといいですね。

(ナビゲータ/レポーター:金子潤 スタッフ:黒田昌代)

改正通訳案内士法が 2018・1.4 から施行されます。全国通訳案内士、地域通訳案内士、その他の無資格通訳ガイドが現場で混在します。国家試験に合格した全国通訳案内士の責務と意義を深く認識し、より上質なスキルを有するべくますますの研鑽が必至です。(理事長・副理事長)

『10月は年会費のお振込時期です!』

日頃は GICSS へのご協力ありがとうございます。皆様からの年会費が、GICSS の最重要運営資金です。期日 10月31日までに**お振込み**をお願い致します。振込方法は同封のご案内用紙をご覧ください。

第 6 回 GICSS 検定「横浜、鎌倉編」 勉強会 7/4, 11, 22 (東京)

7 月、3 回の勉強会が行われ、ランデル先生、松岡先生に加えて、“浜っ子”の秋元裕美子さんも加わり、湘南藤沢在住の芹田の 4 名が交替で講師を務めました。

幕末の開港によりもたらされた Japan First の街、横浜から、武家政治 first の鎌倉をどのように繋げてゆくのか、観光スポットも多く、話題にことかない腕の見せ所満載ルートです。鎌倉でお抹茶を楽しめる寺が多くある中、足利家の菩提寺である浄妙寺には枯山水の庭を眺めながらゆっくりとお茶を楽しめる茶室“喜泉庵”があります。この建物は 1991 年に古民家を移築したもので、庭の角には水琴窟もあり、抹茶と共に出てくる干菓子は老舗の和菓子店「美鈴」の物で、そのデザインは足利家の紋である「丸に二つ引き」です。次回 GICSS 検定は日光編、12 月から開始です。皆様のご参加をお待ちしています。

(講師/レポーター：芹田啓子)



座学 C.C. 「FIT の都内観光」 7/30 (東京)

行程が明確に定められている団体ツアーと異なり、「何でもあり」の FIT ツアーは、毎度「開けてビックリ玉手箱」のスリルがありますが、お客様の好みにぴったり合致した提案をし、思いがけない人や場所との出会いをご提供できた時は、一期一会の喜びを共有することができます。

お客様に居心地良く過ごして頂くには、例えばランチの提案一つとっても細心の注意を払います。What is your budget?とダイレクトに聞くと、失礼と思う方も経験上多くいるので、What would you like to eat, sushi, tempura, or something light and casual like noodle or sandwich?等とお聞きし、light で casual なものを所望される方は、予算も 1000 円台に抑えています。あるいは「この店は銀座にある天ぷら屋でランチは 3000 円位」等と価格をさりげなく説明に入れ選びやすいようにします。

「お客様に合わせる」と「リーダーシップを取る」の「引く・出る」タイミングをうまく図りお客様との幸せな時間をお過ごし下さい。

(ナビゲーター/レポート：千田直子)



「関東新人歓迎懇親会」

7/30 (東京)



懇親会はランデル先生のお話で始まり、高まるガイドの需要の現状報告と、ユニークなガイディングのヒントをいただきました。地元の人々との身近な交流から小さな物語を作り出し、日本の心をビビッドに語る視点、心に沁みました。

千田先生の英語の乾杯スピーチで始まった懇親会は、全員の笑いを誘う自己紹介で打ち解けているうちに、西田さんの日本酒講義となりました。日本酒の区分、歴史に始まり、ワインコンテストに及ぶ、分かり易く興味深い講義でした。飲み比べた日本酒の味と香りは、参加者の胸を潤して饒舌な議論を湧き起こし、知識欲を刺激しました。

希望者による旧古川庭園ツアーも充実でした。和洋が見事に融合するバラ園と日本庭園は、重厚な石造りの洋館を下方から縁取って、大正浪漫の世界に誘い込んでいます。洋館内では、古河財閥や GHQ に成り代わった気分で、再び建築家コンドルと庭師植治の「心」に感動しました。ガイドさんの知識と切り口、ユーモアも素敵でした。

(ナビゲーター：馬瀬八栄子、城戸弘明、レポーター：猪上恵)

地域スポット研修「谷中・千駄木・根津」

8/16, 18 (東京)



関東大震災や空襲被害が少なかったこの地域には、日本文化をご紹介する材料がいろいろあります。桜で有名な谷中霊園、江戸幕府の政策で集まったお寺、昭和の商店街谷中銀座や、根津まで行けばつつじ祭りで知られる根津神社もあります。谷中にお住いのアランウェストさんによれば、横に東京芸大ができたのは、画材屋さんや美術関連の職人さんがこの界隈に多かったからだそうです。アーチスティックな町になる素地がもともとあったのでしょうか。築 100 年前後の懐かしい木造家屋が今でも点在していますが、アートギャラリーやおしゃれな店になっている家があり独特の谷根千の魅力を作っています。

お客様の年齢やご興味、どの程度歩ける方かによって臨機応変にルートを決めながら、東京に住む普通の人々の生活を楽しくお話していくのが、谷根千ウォークのポイントかなと感じています。

(講師/レポーター：城塚容子、スタッフ：海老原昌之)

☆次回のリレーエッセイもお楽しみに！～会員のご活躍ぶりをご紹介下さい。珍事件、感動秘話、ためになる話・・・なんでも結構です！

＝編集後記＝

●(ひ) 今年もあと残すところ 3 ヶ月ですね。最後の追い込みです。皆さん頑張りましょう●(よ) 「緊張する言葉の応酬が、世界の人々に与える恐怖感底知れず！優しく穏やかな平和主義者に心惹かれる昨今です。」 ●(ま) 政界も大きく動き、再編成の兆し、物事がこのよう急転直下に変わることに戸惑うばかりです。改正通訳案内士法の施行が迫ってきました。この流れの行き先をしっかりと捉え、見守りたいと思います。

◆GICSS 研究会 賛助会員＆協力会社

株式会社 JTB グローバルマーケティング&トラベル
CEL 英語ソリューションズ
トップツアー株式会社
株式会社 千代田テクノ
協同組合 京都ハンディクラフトセンター
近畿日本ツーリスト株式会社
㈱日本旅行



NPO 法人 GICSS 研究会 〒154-0011 東京都世田谷区上馬 5-20-15-1001 TEL:03-3706-9861[代表]
E-mail : adm@gicss.org URL : http://www.gicss.org